

1. 本県周辺海域の概況(5/12現在)

- ・今月の海況の概要は図1のとおりです。
- ・暖水塊が三陸沖に位置し、その東側の北緯39度30分、東経145度30分付近に親潮の南限が位置しています。
- ・黒潮の流型はN型(直進流路)で推移しています。犬吠埼の東南東80マイル付近から北北東へ向きを変え、北緯37度、東経144度付近をまで北上した後、南東へ流去しています。

2. 海洋観測結果(5/9~5/11:いばらき丸)

- ・水温を図2~図5に、平年偏差を図6~図7に示しました(なお、水温前月差は4月の海洋観測が欠測したので今回はありません)。
- ・水温の鉛直分布は成層構造で、水温躍層はみられませんでした。表層付近は全域で15℃以上が広く分布しています(図10、11)。また、平年と比べると広い範囲かつ深層まで「高め」でした(図12)。ただし、犬吠埼沖には「低め」もみられました(図13)。
- ・塩分も表層付近で34.5PSU以上と広く高い濃度が分布しています(図14)。
- ・沖合域から中北部海域への時計回りの流れが見られました。沿岸域は北部で真潮、南部で逆潮でした(図15)。
- ・東経141度以東の海域で植物プランクトンが広く発生していました(図1の緑に囲まれた海域)。

3. 今後の1か月の見通し

- ・黒潮の流型はC型基調(伊豆諸島周辺で蛇行)になるでしょう。
- ・黒潮の北限緯度は現在よりもやや南に移動しますが暖水の影響は残るでしょう。親潮系冷水の影響は弱いでしょう。
- ・水温を平年と比べると、概ね「高め」で推移するでしょう。

